

一般

段級

【奥の細道】
うれしくて毎日毎夜語り続けた。彼の弟の桃翠などは朝タニこへ通いつめ、また自分の家にも招いてくれたりした。一族の方々にも招待されるなど、日数を重ねていたある日、郊外を散策し、

日夜語りつづけて、其弟桃翠卒など云が朝夕勤
 とぶらむ、自みづからの家いへにともないひて親しん属そくの方かたにもまね
 かれ、目をふるまに、ひとむ、郊外かうぐわいに逍遙せうようして、

